

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2016年7月号(第19号)



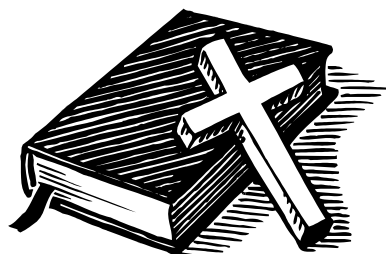
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)【マタイの福音書 1章 23節】

世界には、イエス・キリスト(以下、主イエス)を描いた絵が数多くあります。たいへいは髪が長く、真ん中分けで目はりりしく、かっこよく描かれています。しかし、ある時気づきました。聖書には主イエスの容姿についてまったく書かれていないのです。主イエスは、ユダヤ人として生まれましたから、おそらく髭は生えていたでしょう。しかし、髪が長かったのか、背丈はどうだったのか、まったく書かれていません。主イエスの弟子たちは、顔を見ていたはずですが、聖書に書きませんでした。理由は推測する以外にありませんが、おそらく偶像礼拝を避ける狙いがあったと考えられます。主イエスをまことの神と信じた弟子たちは、

神である御方の容姿について記さなかったのではないかと思います(十戒の第二戒)。しかし、容姿については書いていなくとも、どんな御方なのか、何をされたのかについては書かれています。これからしばらくは、主イエスをテーマに書いていきます。

今月の聖書のことばは、旧約聖書のイザヤ書から引用された言葉です。そこには処女から男の子が産まれることが書かれ、次のように記されています。「その名はインマヌエルと呼ばれる」。聖書の中で、主イエスが実際に「インマヌエル」と呼ばれている場面はありません。ですから、これは主イエスがどんな御方なのかを表しているものと理解することが出来ます。この「イン

マヌエル」はヘブル語ですが、訳すと「神は私たちとともにおられる」という意味です。聖書は、主イエスが共にいてくださる御方であると言います。主イエスは、この後で人間の罪を背負って十字架に架かって死なれ、復活してから40日間地上におられたと聖書にあります。その最後の時に弟子たちに次のように言われました。「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」(マタイ 28:20)今現在、主イエスは天におられますから、この地上において目に見えるかたちではおられません。しかし、「わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」と約束してくださっています。期間限定ではありません。「世の終わりまで」であり、「いつも」です。これは、究極的には死んだ後のことも含んでいると言えます。この御方は、主イエスを自分の救い主として信じ受け入れた人と共にいてくださいます。

あなたは、時に孤独を感じることはない

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～12:00
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
19:30～21:00

○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00 (子育てなどを行っている方のための集い)

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。

でしょうか。その孤独を解決することが出来るのは、主イエス以外にはおられません。それは、この御方こそが私たちを本当の意味で愛してくださっているからです。事実その愛を十字架の死と復活をもって表してくださいました。その主イエスの愛を受け入れることで、私たちの心は満たされ孤独は解決します。主イエスは、ご自身を受け入れた人と共に、世の終わりまで、いつも共にいてくださいます。私たちは決して孤独ではありません。

◆コラム

前回から牧師の一週間という企画を勝手に始めました。今号は火曜日です。毎週火曜日にまったく同じことをしているかといえば、そんなことはありませんが、会議などの特別なことがなければ、まずしていることはギリシャ語初級文法の復習です。本来神学校を卒業した時点で身につけていなければいけません。勉強が苦手な私はそうもいきません。復習あるのみ。また、水曜日に聖書研究祈祷会がありますので、その最後の準備もします(八割方土曜日のうちに仕上げておきます)。他には、事務作業をすることもあり、翌週に役員会があれば議案を作成します。サラリーマン根性が抜けない私は、たいてい12時にお昼休みを入れ、13時から再開します。その際、約4章分聖書を読み、お祈りします。これらのことを行なっていると、あっという間に17時がきます。するといちよう終業ですが、ここでもサラリーマン根性が抜けない私は定時に帰ることに引け目を覚えるため、少し本を読んだりしてから帰ります。徒歩20分。ちょうど良い運動です。